

# 令和6年 後期昇段級試験応募規定

令和6年「後期昇段級試験」を下記の要領で実施いたしますので、奮って応募し自己の実力を  
お試し下さい。

※ 現段級に関係なく、現段級より上位のどの部（S～B）にも応募できます。

実用書		仮名			詩文書		漢字					課題	作品形式
⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①		
漢字細字・兵頭白慧先生書 。十一月号手本課題（No.464）	手紙文・大坪桂子先生書 。十月号手本課題（No.463）	伝紀貫之筆「高野切三種」のうち 任意の箇所を臨書	条幅随意（仮名）・舟尾圭碩先生書 。十月号手本課題（No.463）	半紙随意（仮名）・舟尾圭碩先生書 。十月号手本課題（No.463）	あかい靴の 閻魔が雪を 施して （横須賀 詢の句）	あかい靴の 閻魔が雪を 施して （横須賀 詢の句）	『書譜』十月号から十一月号の米芾 「苕溪詩卷」のうち任意の箇所を臨書 （但、四字以上とする）	起 鳳（才華の優れているたとえ）	『書譜』十月号から十一月号の米芾 「苕溪詩卷」のうち任意の箇所を臨書 （但、十字以上とする）	条幅規定（漢字） 。十一月号手本課題（No.464）	半紙規定（漢字） 。十一月号手本課題（No.464）		
タ半 テ紙	タ半 テ紙	タ半半 テ書 懐紙	タ半 テ書	タ半半 テ書 紙	自半 タテ・ヨコ 紙	タ半 マ折 紙	タ半 タテ 紙	自半 タテ・ヨコ 紙	タ半 タテ 紙	画半 仙折 紙	画半 仙折 紙	タ半 テ書 紙	

□ 一般部（毛筆）  
一、課題

<p>▽ 受験資格 現在毛筆師範正の人にかぎりません。 令和六年後期昇段級試験の課題に同じ。</p> <p>▽ 課題 現在毛筆師範正の人にかぎりません。 令和六年後期昇段級試験の課題に同じ。</p> <p>▽ 出品作品</p> <p>(イ) 漢字半折②を二体。 臨書半折③を一枚。 漢字半折④を一枚。</p> <p>(ロ) 漢字半折④を一枚。</p> <p>(ハ) 漢字半折④を一枚。</p> <p>(ニ) 詩文書半折または半折⑥を一枚。</p> <p>(ホ) 仮名半紙⑧を一枚。</p> <p>(ヘ) 実用書半紙⑩・⑫のいずれかを一枚。</p> <p>※ 出品作品の落款は雅号で記入し、雅号印を押して昇試清書 作品として出品して下さい。</p> <p>※ 「七、出品要領」ア～カに準じて出品して下さい。</p> <p>▽ 出品締切日 十一月三十日（土） 必着厳守</p> <p>▽ 一次受験料 三〇、〇〇〇円（二次受験料は作品と共に前納のこと。）</p> <p>▽ 発表 表</p> <p>。試験の結果については、合格、または不合格の通知を本人あてに します。ので、作品送付の際、住所、氏名を記入のうえ百十円切手 をはった返信用封筒を同封して下さい。</p> <p>。なお、一次合格者については、二次試験（実技と筆記試験）を実 施（予定）いたします。詳細については本人あてに通知いたします。</p> <p>※ 二次試験合格者のみ「成家」として認定致します。</p>	<p>「成家」受験規定について</p>
---	---------------------

課題	用紙
① 一般硬筆部十一月号手本課題（B）（No.464）	硬筆用紙
② ①の（一般硬筆）の課題（B）をヨコ書きに書きなさい。	硬筆用紙
③ 草わかば 色鉛筆の 赤き粉の ちるがいとしく 寝て削るなり △北原白秋のうた△	ちらし書き 硬筆裏面使用可
④ 漢字細字⑫の課題を右サイズの硬筆用紙に体裁 よく書きなさい。	硬筆用紙
⑤ 暮らしに役立つ書十一月号の課題△硬筆課題A▽（No.464） を右サイズの便箋用紙に書きなさい。	

□ 一般部（硬筆）  
※ 硬筆用紙（縦十八センチ×横十三センチ）を使用のこと。  
※ 便箋用紙（縦二十六センチ×横十八センチ）を使用のこと。

※ 11月号競書及び令和6年度後期昇段級試験締切は、11月30日(土)必着厳守です。

※ 二体とは、楷・行とか、隸・草など任意とする。(隸と楷や行と草の組み合わせは不可)  
 ※ 参考手本希望者は、六項をよく読んでお申込み下さい。

(一般) 硬 筆				(一般) 毛 筆				試験 挑 戦 部
C (現準1級) の方まで	B (現準二段) の方まで	A (現四段) の方まで	S (現準師範) の方まで	C (現準1級) の方まで	B (現準二段) の方まで	A (現四段) の方まで	S (現準師範) の方まで	
ア、 課題①～⑤のいずれかから一枚	イ、 課題①を二体 ア、 課題①～⑤のいずれかから二枚	エ、 課題⑤と①を二体 ウ、 課題④と①を二体 イ、 課題③と①を二体 ア、 課題②と①を二体	イ、 課題④・⑤と①を二体 ア、 課題②・③と①を二体	ア、 課題①・⑤・⑦・⑧・⑪・⑫の いずれかから一枚	イ、 課題①・⑤・⑦・⑧・⑪・⑫の いずれかから二枚	ウ、 課題①・⑤・⑦・⑧・⑩・⑪・⑫の いずれかから四枚	イ、 課題②・③・④・⑥の いずれかから二枚 ア、 課題②を二体	課題 (ア～エ) のうち任意のものを 選び、 応募下さい。
計一枚	計二枚 計二枚	計三枚 計三枚 計三枚	計四枚 計四枚	計一枚	計二枚 計二枚	計四枚 計二枚 計二枚	計三枚 計三枚 計三枚	受験料
3,000円	4,000円	6,000円	8,000円	3,000円	4,000円	6,000円	8,000円	

二、一般部出品作品・受験料  
 ※ 試験は現段級に関係なく、どの挑戦部 (S～B) にも応募できますが、現1級・現二段・現準五段の方は、それそれ上の試験挑戦部で受験して下さい。  
 ※ 現在級の方でもS～B部への受験可能です

※ 現準五段 (毛筆・硬筆) 以上の方はAでの受験をお勧めします。

学 生 部				課 題	用 紙
硬 筆		毛 筆			
B、十月号または、十一月号規定手本課題 一枚	A、十月号・十一月号規定手本課題 計二枚	B、半紙にて受験 (十月号または十一月号規定手本課題) 一枚	A、条幅¼にて受験 (十月号または十一月号条幅¼参考手本に 準じたもの) 一枚		
400円	600円	400円	600円		受験料

二、学生部出品作品・受験料  
 ※ 学生部毛筆・硬筆はAまたはBのいずれかの受験とし、A・B両方での受験はできません。

硬 筆		毛 筆		課 題	用 紙
B、各学年とも「書譜」十月号・十一月号の規定課題 (十月・十一月縮切分) いずれか一枚	A、各学年とも「書譜」十月号・十一月号の規定課題 (十月・十一月縮切分) 計二枚	B、各学年とも「書譜」十月号・十一月号の規定課題 (十月・十一月縮切分) いずれか一枚	A、各学年とも「書譜」十月号または、十一月号の条幅¼参考手本 (十月・十一月縮切分) に準じたもの		
規定の紙	規定の紙	タテ書	半紙		条幅¼ タテ書

□ 学生部  
 一、課題 (十月号・No.463、十一月号・No.464)

三、作品締切日 十一月三十日(土) 必着厳守

四、成績発表

令和七年一月号「書譜」に掲載します。

五、認定証について

師範、特待生合格者には、認定証を贈るほか、本誌に顔写真を掲載し、その榮譽をたたえます。支部代表者は、合格者氏名及び顔写真(裏面に氏名・部門・代表者名を記入)を「現代書研究社競書係」宛、ご送付下さい。

なお、認定証は支部代表者にお送りします。

※支部代表者は合格者の顔写真をまとめてお送りください。二回目からは、別途料金(左記)が掛かります。また、個人宛にも別途料金が掛かります。

六、参考手本希望者は、揮毫料をそえ、返信用封筒(切手貼付宛名記入のこと)を同封の上、添削担当者(「書譜」最終頁参照)にお申し込み下さい。(※電話での申し込みは受付致しません)

☆書譜 裏面の先生方は、左記に準じた手本代となります。

※半折・半折 $\frac{1}{2}$ 横手本	一枚	三、〇〇〇円
※学生部条幅 $\frac{1}{4}$ 手本	一枚	八〇〇円
※半紙手本(コピー)	一枚	四〇〇円
※硬筆手本(コピー・一般部のみ)	一枚	三〇〇円

七、出品要領

ア、昇段級試験に限り、出品券は使用致しません。作品の左下に「現段階・氏名」を、また作品の右下には「支部名または代表者名」を横書きでつぎりとお書き下さい。

(二枚以上ある場合も作品全部に書いて下さい。)

※作品は返却致しませんので、「了」承下さい。

イ、各試験部で応募作品が二枚以上ある場合(一般部・学生部とも)

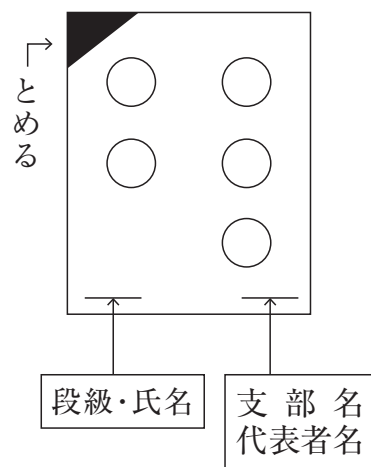
は、作品を整えて左肩をホッチキス、または、のりでとめて下さい。なお、一般部半折又は半折 $\frac{1}{2}$ での受験の方は、段級・氏名の部分が見えるようにたたみ各試験部に分けて、提出して下さい。

ウ、一般部応募者の方は、作品の右肩に半紙作品には△A・Bまたは

C✓、硬筆作品には△S・A・BまたはC✓の試験部を赤でお書き下さい。

学生部硬筆の△A✓を受験される方も試験部を赤で右肩にお書き下さい。

一般部(S・A・B・C)  
学生部硬筆(A)  
※各試験部に別けて、まとめて下さい。



横書きで

「段・級・氏名・支部名等が見えるようにたたんで下さい。」

エ、中学生については、学年をはっきりとお書き下さい。

オ、作品の送付については、月例競書と別封筒にし、封皮に「昇試作品」と朱書して下さい。

カ、受験料は出品点数一覧表(私製でもよい)に記入の上現金書留にて締切日までに送付して下さい。(切手代用及び振込は不可)

キ、試験は現段階に関係なく、現段階より上位のどの部(S・C)にも応募できますが、特に現1級・現二段・現準五段の方は、それぞれ上の試験挑戦部で受験して下さい。間違つて受験された場合、作品・受験料はお返し出来ませんので、「了」承下さい。

□作品・受験料郵送先△出品要領オ・カに準ずること

〒802-0974 北九州市小倉南区徳力四丁目三番五号

有限会社 現代書研究社

電話・FAX(〇九三)九六七一三〇七二番